

地域住民と協力したPTAパトロールを実施 ～子供たちの安心・安全を提供するために～

現業評議会ニュース「番外編」は、本部の取り組みではなく、各地連や県本部、単組での取り組みを紹介しています。今回は、愛知県本部自治労名古屋市職員組合（土木関係）での取り組みを紹介していきます。

中村土木事務所では年に3回実施されるPTAパトロールに毎回参加（維持係長＋直営班の代表3人）し、直営の業務を紹介している。重機がないので大規模な修繕は民間となるが、身近にある道路の穴ぼこ、雨水桝の取り換え、樹木の剪定、ベンチ板の交換など業務の一部を紹介。（写真下）

この日は小学校を起点に歩き、信号や標識、交通マナーについては警察での相談となることが多いが、歩道の段差や街路樹の落ち葉の困りごとや植栽の樹木が高いことで見通しが悪く危険などの意見が寄せられた。土木事務所の職員が同伴することにより、それぞれの現場で丁寧な説明ができるとともに迅速に処理ができるメリットを伝えた。最近では道路・公園の損傷通報としてLINEを活用し、地域の困りごとに対応している。



直営の業務内容を紹介する土木事務所の組合員



パトロールで歩道の状況などを説明



名古屋市では、地域の安全を守る取り組みの一環として小学校のPTAパトロールを実施している。名古屋市は16の行政区があり、PTAパトロールは夏休み前など年に3回実施している。各回では各区1校に絞った重点校で、区政協力委員などの代表の方、保護者の方、学校関係者、区役所、警察と連携し、その中に土木事務所も参加してパトロールを実施している。

今回紹介するのは、名古屋市の中心部にある中村区の笹島小学校。中村区の中でも特に、名古屋駅から近いこともあり、昼夜を問わず交通量が非常に多く、人通りも多い地域です。朝夕の通勤時には自転車利用者が多いため、通学時に子どもたちが危険にさらされている現状を実際の「現場」で体験することができた。



“地域密着”で、まちの困りごとを解決

今回参加された地域の方からは、「日頃から土木事務所の皆さんは電話したら直ぐに対応してくれるから非常に助かっている」とうれしいコメントが寄せられた。今回業務を紹介した直営班も「日頃から道路・公園での困りごとは非情に多いと感じる。これから冬休みに入り子供たちの活動の範囲も変わって行くため、こんなことで電話したら申し訳ないな、とか躊躇されるケースが多々あるかと思うが、些細なことでも構わないので土木事務所に一報いただければ助かる。ともに安全・安心なまちづくりを支える立場として地域を守って行きましょう」とコメントし今回のパトロールを終了した。